DENON

AV サラウンドアンプ

AVC-3808

取扱説明書【追加機能編】

本機の取扱説明書は次の２冊で構成されています。

- 【本編】
- 【追加機能編】················ 本書

本書では追加になった機能のみを説明しています。

追加になった機能は GUI メニューマップに "N" のある項目です。
GUI メニューマップ（☞ 3ページ）

ご注意

【追加機能編】と**【本編】**に同じ名前の項目がある場合は、**【追加機能編】**をご覧ください。

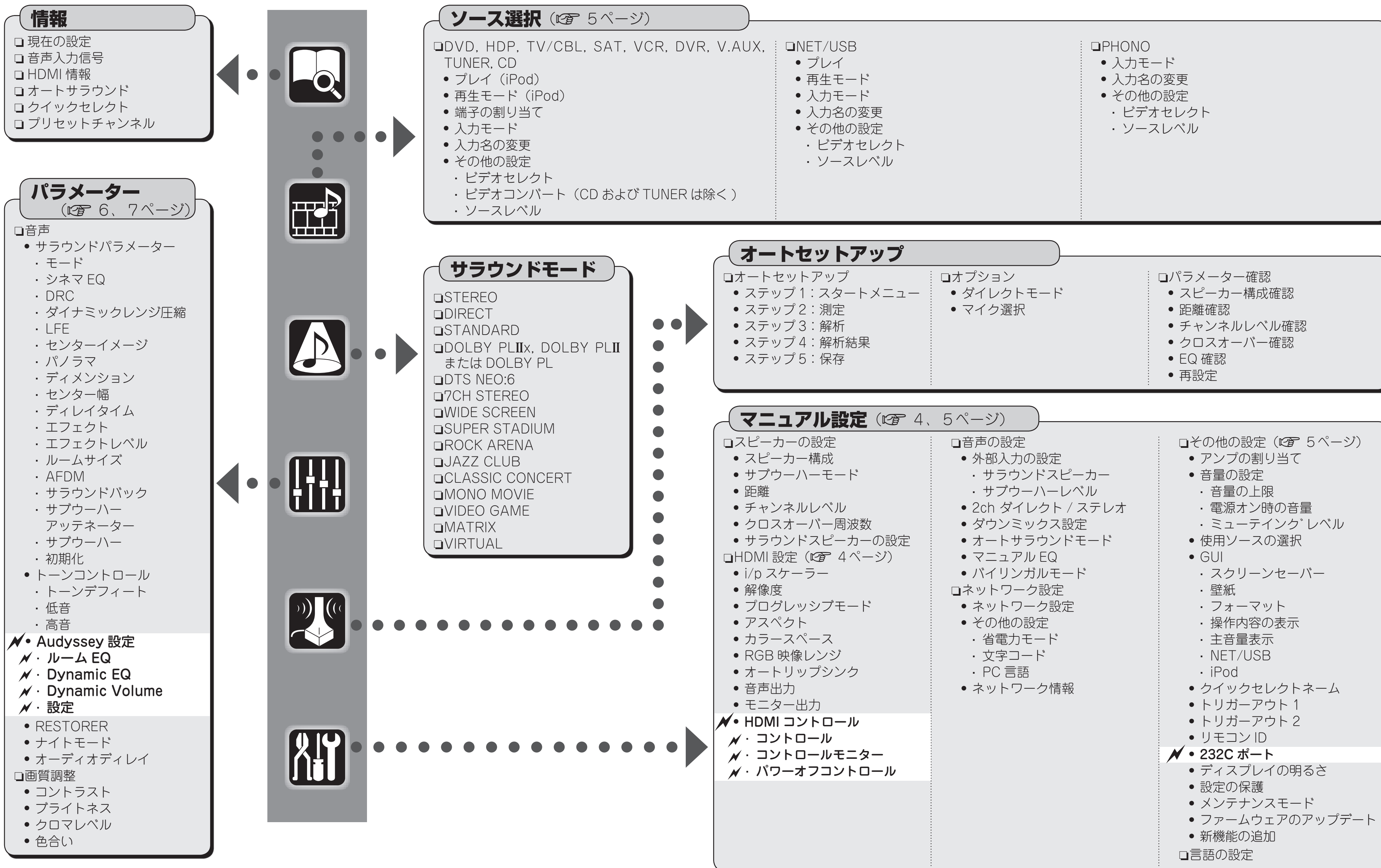
- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 取扱説明書（**【本編】**・**【追加機能編】**）をお読みになった後は、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。

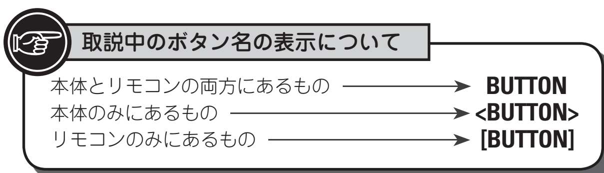
❑ 追加機能

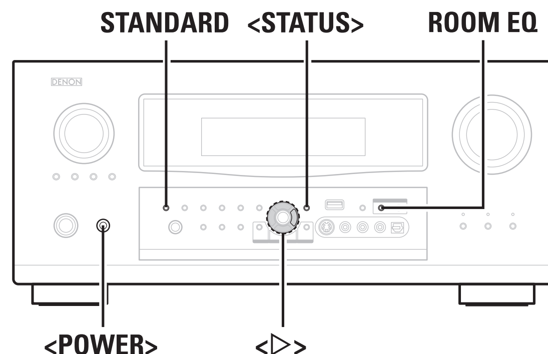
1. **新しい DENON 製 iPod 用コントロールドック ASD-11R に対応**
   ASD-11R を接続すると、iPod の再生 (音楽 / 写真 / 映画) を楽しむことができます。
2. **Audyssey Dynamic Volume 機能追加**
   Audyssey Dynamic Volume は、音源を常にモニタリングしながら、ダイナミックレンジを損なうことなく最適な音量に調節します。
3. **Audyssey Dynamic EQ 機能追加**
   Audyssey Dynamic EQ は、小さな音量にしても音の質感を損なわないようにします。
4. **HDMI コントロール機能を搭載**
   HDMI コントロールに対応したテレビやレコーダーを HDMI ケーブルで接続すると、電源のオン / オフやボリューム調整などの主要機能がテレビのリモコンによって操作することができます。

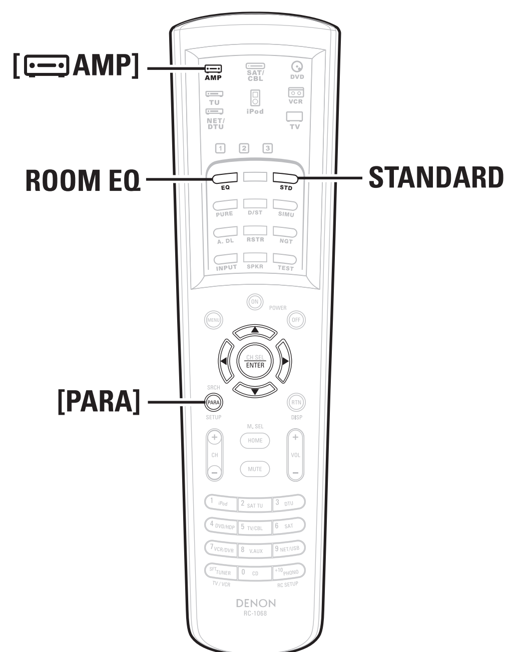
❑ 総目次

GUI メニューマップ　は新しく追加された機能です。









マニュアル設定

GUI

いろいろなパラメーターの詳細な設定をおこないます。

HDMI設定

GUI

HDMIの映像/音声出力に関する設定をします。

● メニュー階層 ●

マニュアル設定
HDMI設定
1 HDMI コントロール

1 HDMI コントロール

HDMI コントロール機能の設定をします。

コントロール

HDMI コントロール機能のオン / オフを設定します。

【選択できる項目】 オン オフ

ご注意

- **“コントロール”を“オン”に設定すると、GUI メニューの“ソース選択”-“端子の割り当て”（☞ 5ページ）の“デジタル端子”の割り当てが変更になります。**
- 長期間本機を使用しない場合は、**<POWER>** を押して電源を切る (■OFF) ことをお勧めします。
  “コントロール”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

コントロールモニター

HDMI コントロールで連動させるモニターを選びます。

【選択できる項目】 モニター 1 モニター 2



“コントロール”の設定が“オン”のときに設定できます。

パワーオフコントロール

HDMI コントロールで電源オフを連動させせます。

【選択できる項目】 オン オフ



- “コントロール”の設定が“オン”のときに設定できます。
- 接続している機器の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- “コントロール”の設定を変更した場合は、変更後必ず接続機器の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- 本機の電源を切った場合は、HDMI コントロール機能は動作しません。
- 詳しくは、「HDMI コントロール機能」をご覧ください（☞10 ページ）。

その他の設定

その他の設定をします。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - その他の設定
    - 1 GUI
    - 2 232C ポート
    - 3 新機能の追加

1 GUI

GUI の表示に関する設定をします。

主音量表示

主音量を調節するときに主音量レベルを表示します。

【選択できる項目】 下 上 オフ



主音量表示が映画の字幕に重なって見づらい場合は、“上”に設定してください。

2 232C ポート

外部コントローラーまたは双方向リモコンを接続したときに設定します。

【選択できる項目】

シリアルコントロール：外部コントローラーを使用するときに設定します。

双方向リモコン：双方向リモコンを使用するときに設定します。

ご注意

双方向リモコン（RC-7000CI や RC-7001RCI、別売り）をお使いになる場合は、“双方向リモコン”に設定してください。この場合、RC-232C 端子を外部コントローラー用としては使用できません。

3 新機能の追加

新機能（有償）をダウンロードして、本機をアップグレードします。

新機能の購入後に、ユーザー情報が登録されると、このメニューに“購入”と表示され、アップグレードが可能になります。



新機能の追加の画面で“未購入”が表示されている場合は、アップグレードできません。
アップグレードを利用する場合は、DENON websiteでアップグレードパッケージを購入してください。
ご購入の際には、この画面に表示されているIDナンバーが必要になります。
<▷> と **<STATUS>** ボタンを3秒以上長押しすると、ID番号をディスプレイに表示させることができます。

アップグレードステータス

アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。



アップグレード中は、電源やネットワークの接続を絶対に切らないでください。

ソース選択

入力ソースの選択や入力ソースの再生に関する設定をします。

入力ソースの再生に関する設定

● メニュー階層 ●

- ソース選択
  - DVD, HDP, TV/CBL, SAT, VCR, DVR, V.AUX, CD, TUNER
    - 1 端子の割り当て
  - NET/USB
  - PHONO

1 端子の割り当て

選んだ入力ソースに割り当てる入力端子を選びます。

デジタル端子

選んだ入力ソースに割り当てるデジタル入力端子を選びます。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR V.AUX CD TUNER

【選択できる項目】 COAXIAL1 ~ 3 OPTICAL1 ~ 4 DENON LINK* 無し

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT	VCR	DVR	V.AUX	CD	TUNER
初期設定	COAXIAL 1	無し	COAXIAL 2	OPTICAL 1	OPTICAL 3	OPTICAL 2	OPTICAL 4	COAXIAL 3	無し

*：本機と弊社の DVD プレーヤーを、DENON LINK で接続した場合に設定できます。

“HDMI コントロール”を“オン”に設定すると、”TV/CBL”のデジタル入力端子の割り当ては、“Optical3”に変わります。

ご注意

- “iPod dock”が割り当てられている入力ソースには、設定できません。
- “DENON LINK”を割り当てた入力ソースを選んだときは、デジタル入力端子から入力されたPCM信号、ネットワークオーディオ（インターネットラジオ、ミュージックサーバーおよびUSB）信号をアナログREC OUT端子へ出力することができません。

パラメーター



音声



音声のパラメーターを調節します。

● メニュー階層 ●

- パラメーター
  - 音声
    - 1 サラウンドパラメーター
    - 2 Audyssey 設定

1 サラウンドパラメーター

音場効果を調節します。
調節できるパラメーターは、各サラウンドモードごとに異なります。

サラウンドバック（マルチチャンネルソースの場合）

サラウンドバックチャンネルの再生方法を選びます。

【選択できる項目】

NON MTRX　MTRX ON　PLIIx CINEMA *1
PLIIx MUSIC *2　ES MTRX *3　ES DSCRT *4
DSCRT ON　オフ

*1: GUI メニューの "スピーカー構成" の設定で、"サラウンドバック" が "2 台" のときに選べます。
*2: GUI メニューの "スピーカー構成" の設定で、"サラウンドバック" が "2 台" または "1 台" のときに設定できます。
*3: DTS ソースを再生しているときに選べます。
*4: ディスクリート 6.1 チャンネルの信号の識別信号が含まれている DTS ソースを再生しているときに選べます。



サラウンドバックスピーカーを使用しているときに STANDARD を押すと、"サラウンドバック" の設定を変えることができます。

2 Audyssey 設定

ルーム EQ、Dynamic EQ および Dynamic Volume を選びます。

ルーム EQ

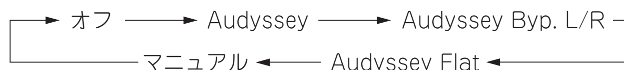
【選択できる項目】

Audyssey	：すべてのスピーカーの周波数特性を最適に補正します。
Audyssey Byp. L/R	：フロントスピーカー以外のスピーカーの周波数特性を最適に補正します。
Audyssey Flat	：すべてのスピーカーの周波数特性が均一になるように補正します。
マニュアル	："マニュアル EQ" で調節された周波数特性を適用します。
オフ	：イコライザーを使用しません。



本体やリモコンでも操作できます

ROOM EQ を押す。



- "Audyssey"、"AudysseyByp.L/R" または "Audyssey Flat" を選んだ場合 "AUDYSSEY MULTEQ XT" 表示が点灯します。
- オートセットアップをおこなった後、測定したスピーカーの本数を増やさずに、スピーカーの構成、距離、チャンネルレベルおよびクロスオーバー周波数などの設定を変更した場合は、"AUDYSSEY MULTEQ XT" 表示が点灯します。



- オートセットアップをおこなった後に、"Audyssey"、"Audyssey Byp. L/R" および "Audyssey Flat" を選ぶことができます。
- オートセットアップをおこなうと、"ルーム EQ" の設定は自動的に "Audyssey" になります。
- オートセットアップで "None" と判定されたスピーカーの設定を変更した場合、"Audyssey"、"Audyssey Byp. L/R" および "Audyssey Flat" を選べません。再度オートセットアップをおこなうか、GUI メニューの "オートセットアップ" – "パラメーター確認" – "再設定" で、オートセットアップ実行後の設定に戻してください。
- ヘッドホン使用時または EXT.IN モード時、"ルーム EQ" は "オフ" になります。

Dynamic EQ

Audyssey Dynamic EQ™ は、人間の聴覚や部屋の音響特性を考慮し、ボリュームレベルを下げた際に発生する音質の低下を防ぐ技術です。
Dynamic EQ は、Audyssey MultEQ® XT 技術と連動することによりすべてのボリュームレベルに対して最適なバランスの音質をすべてのリスナーに提供します。

【選択できる項目】

オン	：Dynamic EQ 機能を使用します。
オフ	：Dynamic EQ 機能を使用しません。



リモコンでも操作できます

[PARA] を押す。





- "Dynamic EQ" は、オートセットアップをおこなった後に設定できます。
- オートセットアップをおこなうと、"Dynamic EQ" の設定は自動的に "オン" になります。
- 次の場合、"Dynamic EQ" は設定できません。
  - "オートセットアップ" が完了していない場合
  - オートセットアップをおこなった後、測定したスピーカーから使用するスピーカーを増やした場合
- "ルーム EQ" を "オフ" または "マニュアル" に設定すると、"Dynamic EQ" は自動的に "オフ" になります。
- オートセットアップ実行前やオートセットアップ実行後にスピーカーの本数を増やして **[PARA]** を押した場合に "Run Audyssey" を表示します。このような場合には、オートセットアップをおこなうか、GUI メニューの "オートセットアップ" – "パラメーター確認" – "再設定" で、オートセットアップ実行後の設定に戻してください。

ご注意

"Dynamic EQ" を "オン" に設定すると、"トーン" および "ナイトモード" は使用できません。

❏各機能の動作条件

- **Dynamic EQ：** "ルームEQ" を "Audyssey"、"Audyssey Byp. L/R" または "Audyssey Flat" に設定しているとき
- **Dynamic Volume：** "Dynamic EQ" を "オン" に設定しているとき
- **設定：** "Dynamic Volume" を "オン" に設定しているとき

ルーム EQ
- Dynamic EQ
  - Dynamic Volume
    - 設定

Dynamic Volume

Audyssey Dynamic Volume™ は、テレビや映画など再生されるコンテンツ内におけるボリュームレベルの変化（静かな音のシーンと大きな音のシーンの間など）をユーザーの好みのボリューム設定値に自動的に調整する技術です。
また、Dynamic Volume は Audyssey Dynamic EQ の技術をアルゴリズムの中に取り込むことによりボリュームレベルの調整時やテレビチャンネルの切り替え時、ステレオコンテンツからサラウンドコンテンツなどの切り替え時でも低域特性や音質バランス、サラウンド効果、ダイアログの明瞭さを保っています。

【選択できる項目】

オン：Dynamic Volume 機能を使用します。
Dynamic Volume の効果は、“設定”にて設定した値になります。

オフ：Dynamic Volume 機能を使用しません。

リモコンでも操作できます

[PARA] を押す。





- “Dynamic Volume”は、オートセットアップをおこなった後に設定できます。
- 次の場合、“Dynamic Volume”は設定できません。
  - “オートセットアップ”が完了していない場合
  - オートセットアップをおこなった後、測定したスピーカーから使用するスピーカーを増やした場合
- “ルーム EQ”を“オフ”または“マニュアル”に設定すると、“Dynamic Volume”は自動的に“オフ”になります。
- オートセットアップ実行前やオートセットアップ実行後にスピーカーの本数を増やして **[PARA]** を押した場合に“Run Audyssey”を表示します。このような場合には、オートセットアップをおこなうか、GUI メニューの“オートセットアップ”－“パラメーター確認”－“再設定”で、オートセットアップ実行後の設定に戻してください。

ご注意

“Dynamic Volume”と“ナイトモード”との併用はできません。

設定

“Dynamic Volume”の設定が“オン”のときに設定できます。
Dynamic Volume の効果を設定します。

【選択できる項目】

Midnight：高設定です。すべての音を一定の大きさにします。

Evening：中設定です。平均的な音より大きな音と小さな音を調節します。

Day：低設定です。非常に大きな音と非常に小さな音を調節します。

ご注意

- “設定”は、オートセットアップをおこなった後に設定できます。
- 次の場合、“設定”は設定できません。
  - “オートセットアップ”が完了していない場合
  - オートセットアップをおこなった後、測定したスピーカーから使用するスピーカーを増やした場合
  - “Dynamic Volume”の設定が“オフ”の場合

Dynamic EQについて

Audyssey Dynamic EQ は、人間の聴覚や部屋の音響特性を考慮し、ボリュームレベルを下げた際に発生する音質の低下を防ぐ技術です。
Dynamic EQ は、すべてのボリューム変化に応じて自動的に最適な周波数特性とサラウンドレベルに補正します。その結果、どのようにボリュームレベルを変更しても、常に最適な低域特性や音質バランス、サラウンド効果、ダイアログの明瞭さを楽しむことが可能な技術です。また、正しい補正をおこなうために必要不可欠な条件である、入力（再生）されるコンテンツの情報と、実際に視聴する部屋に出力される音圧レベル情報とを組み合わせています。
Dynamic EQ は、Audyssey MultEQ XT 技術と連動することにより、すべてのボリュームレベルに対して最適なバランスの音質をすべてのリスナーに提供します。

Dynamic Volumeについて

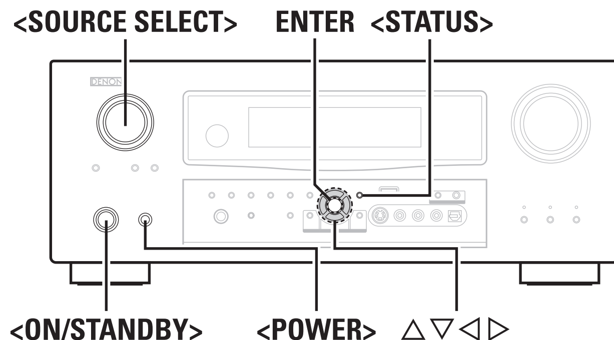
Audyssey Dynamic Volume は、テレビ番組や CM（コマーシャル）、映画などのコンテンツにおける静かな音のシーンと大きな音のシーンの間におけるボリュームレベルの違いによって発生する問題を解決する技術です。
Dynamic Volume は、入力されるコンテンツを常にモニターし、ユーザーが設定した好みのボリュームレベルに常に自動的に調整することにより、ユーザーからボリューム調整の煩わしさを解放します。再生中のコンテンツの中に含まれる特徴を正確にモニターし、ボリュームの変化が急激であっても、緩やかな変化であってもコンテンツの特徴に忠実に最適なボリューム値（ユーザー設定値）に自動調整をおこないます。
また、Dynamic Volume は Audyssey Dynamic EQ の技術をアルゴリズムの中に取り込むことにより、ボリュームレベルの調整時やテレビチャンネルの切り替え時、ステレオコンテンツからサラウンドコンテンツなどの切り替え時でも低域特性や音質バランス、サラウンド効果、ダイアログの明瞭さを保っています。

再生のしかた



取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの ——→ **BUTTON**
本体のみにあるもの ——→ **<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの ——→ **[BUTTON]**



[AMP]
[QUICK SELECT]
[POWER ON]
[iPod]
[SOURCE SELECT]

[iPod]
[|◀◀], [▶▶|], [◀◀], [▶▶], [▶], [■]
[POWER OFF]
△▽◁▷
ENTER
[SEARCH]
[CHANNEL + –]

準備

電源を入れる

1 **<POWER> を押す。**
電源表示が赤色に点灯して、電源がスタンバイ状態になります。

2 **<ON/STANDBY> または [POWER ON] を押す。**
電源表示が緑色に点滅して、電源が入ります。

※ スタンバイモード時に **[SOURCE SELECT]** を押しても、電源が入ります。この場合、リモコンで選択した入力ソースになります。
※ スタンバイモード時に **[QUICK SELECT]** を押しても、電源が入ります。この場合、リモコンで選択したクイックセレクトモードになります。

iPod® を再生する

iPod 用コントロールドック（ASD-1R、別売り）を使用することにより、iPod の音楽を再生することができます。また、GUI 画面を見ながら、本体やリモコンボタンからも操作することができます。



iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc. の商標または登録商標です。

※ iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

基本操作

1 **準備をする。**

① DENON 製 iPod 用コントロールドックに、iPod をセットする。（☞iPod 用コントロールドックの取扱説明書）
② iPod 用コントロールドックの入力を割り当てる。

GUI ：“ソース選択”-“(入力ソース)”-“端子の割り当て”-“iPod dock”

2 **<SOURCE SELECT> を回すか、[iPod]（アンプモード）を押して、操作 1-②で割り当てた入力ソースを選ぶ。**

— GUI 画面 —



（ASD-1R 使用時）　（ASD-11R 使用時）

※ ASD-11Rをお使いの場合、トップメニューには“ミュージック”と“ビデオ”のフォルダを表示します。
※ 本機とiPodの通信が完了するとiPodに接続画面が表示されます。画面が表示されない場合は、iPodが正しく接続されていない可能性があります。再度接続をやり直してください。

GUI ：“ソース選択”-“(入力ソース)”-“プレイ”

3 **リモコンで操作する場合は、リモコンを iPod モードにする。**

4 **[SEARCH] を 2 秒以上長押しして、表示モードを選ぶ。**
長押しするたびに、モードが切り替わります。
リモートモードのときには、“Remote” が表示されます。

【選択できるモード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	○ ＊1	○ ＊2
操作できるボタン	本機のリモコン	○	○
	iPod	×	○

＊1：iPod用コントロールドック ASD-11R使用時
＊2：ASD-1RとiPodの組み合わせによっては、映像が出力されない場合があります。



- お買い上げ時の設定は、iPod 用コントロールドックを VCR（iPod）端子に接続してお使いいただけます。
- 圧縮オーディオの低域や高域を拡張してより豊かな再生をするには、RESTORER モードをおすすめします。お買い上げ時の設定は“Mode3”になっています。
- iPod は、**<ON/STANDBY>** または **[POWER OFF]** で本機の電源をスタンバイ状態にしてから、取り外してください。iPod dock の入力を割り当てていない入力ソースに切り替えても、iPod を取り外すことができます。

ご注意

- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。

音楽を聴く

1 **△▽ で検索項目またはお好みのフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。**

※ ASD-11Rをお使いの場合、トップメニューで“ミュージック”を選んでください。

2 **△▽ でお好みの音楽ファイルを選び、ENTER または ▷ を押す。**
再生がはじまります。

❑ 一時停止するには

再生中に **ENTER** または **[▶]** を押す。
もう一度押すと、再生を再開します。

❑ 早送りや早戻しするには

再生中に △（早戻し）または ▽（早送り）を長押しするか、**[◀◀]** または **[▶▶]** を押す。

❑ 頭出しするには

再生中に △（前の曲の頭出し）または ▽（次の曲の頭出し）を押すか、**[I◀◀]** または **[▶▶I]** を押す。

❑ 停止するには

再生中に **ENTER** を長押しするか、**[■]** を押す。

❑ リピート再生するには

[CHANNEL –] を押す。

【選択できる項目】 **すべて** **1 曲** **オフ**

GUI ：“ソース選択”-“(入力ソース)”-
“再生モード（iPod）”-“リピート”

❑ シャッフル再生するには

[CHANNEL +] を押す。

【選択できる項目】 **アルバム** **曲** **オフ**

GUI ：“ソース選択”-“(入力ソース)”-
“再生モード（iPod）”-“シャッフル”

❑ ページを切り替えるには

[SEARCH] を押してから、◁（ページダウン）または ▷（ページアップ）を押す。

解除する場合は、△▽ または **[SEARCH]** を押してください。

❑ ブラウズモードとリモートモードを切り替えるには

[SEARCH] を長押しする。



- 再生中に **<STATUS>** を押すと、タイトル名、アーティスト名およびアルバム名を確認できます。
- 本機は、フォルダ名とファイル名をタイトルのように表示することができます。ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。
- GUIメニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“GUI”-“iPod”で、GUIメニューの表示時間（初期値：30秒）を設定することができます。

ビデオを見る（ブラウズモード）

ASD-11R にビデオ機能対応の iPod を接続すると、ブラウズモードでビデオファイルを見ることができます。

1 **△▽ で“ビデオ”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△▽で検索項目またはお好みのフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。**

3 **△▽ でお好みのビデオファイルを選び、ENTER または ▷ を押す。**
再生がはじまります。

静止画像やビデオを見る（リモートモード）

iPod に保存してある写真やビデオのデータをモニターで見ることができます。（スライドショーやビデオ機能がある iPod のみ）

1 **[SEARCH] を長押しして、リモートモードにする。**
“Remote iPod”を本機のディスプレイに表示します。

2 **iPodの画面を見ながら △▽ を押して、“写真”または“ビデオ”を選ぶ。**

3 **再生したい画像が表示されるまで、ENTERを押す。**



- iPod の写真データやビデオデータをモニターに映し出すには、iPod の“スライドショー設定”または“ビデオ設定”の“TV 出力”を“オン”に設定する必要があります。詳しくは、iPod の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンで操作できない場合は、iPod 本体で操作してください。

その他の操作や機能

便利な機能

HDMI コントロール機能

本機を HDMI コントロール機能に対応しているテレビやプレーヤーに接続した場合に、以下の操作ができます。
本機の設定以外に、各機器の設定が必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

- テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源をオフにできます。
  テレビの音声出力の設定操作にて「アンプから音声を出力する」の設定操作をおこなうと、アンプの電源をオンにすることができます。
- テレビの操作で、音声を出力する機器の切り替えができます。（テレビのスピーカーからの出力と、本機に接続したスピーカーからの出力の切り替え）
- テレビの音量調節操作で、本機の音量の調節ができます。
- テレビの入力の切り替え操作に連動して、本機の入力ソースの切り替えができます。
- プレーヤーを再生すると、本機の入力ソースがそのプレーヤーの入力ソースに切り替わります。

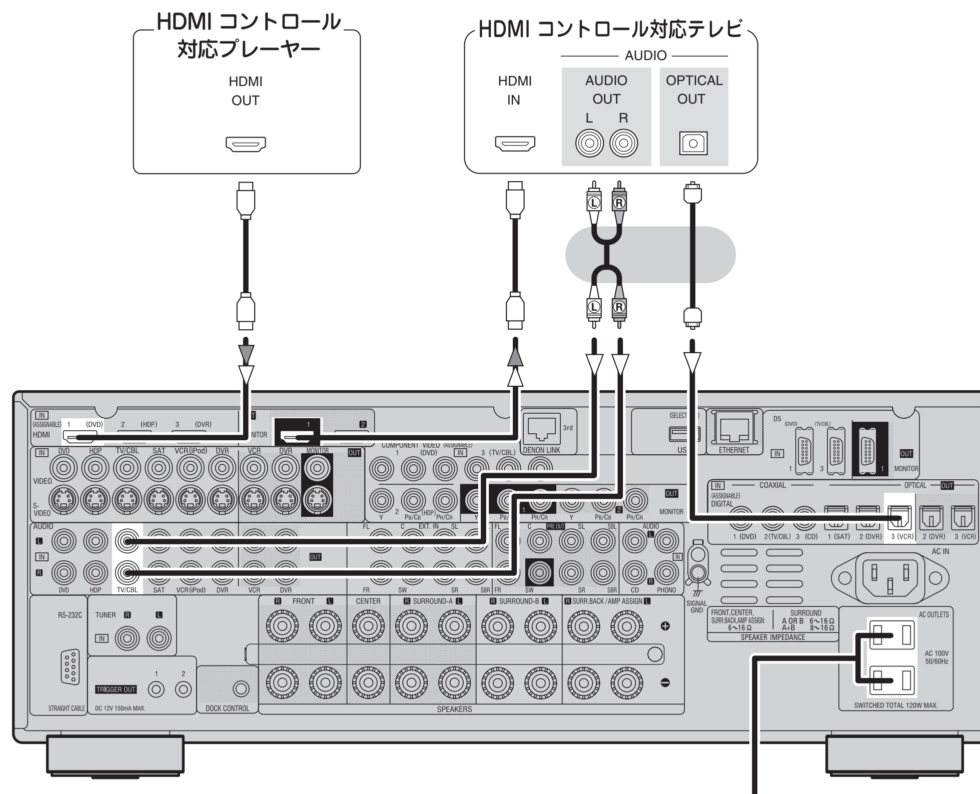


- テレビの音声を本機で聞きたい場合は、光デジタルまたはアナログ接続をしてください。
  お使いのテレビに、両方の接続端子が装備されている場合は、光デジタル接続をしてください。
- 本機能をお使いになる場合は、GUIメニューの“マニュアル設定”–“HDMI設定”–“HDMIコントロール”–“コントロール”を“オン”に設定してください（☞ 4ページ）。

ご注意

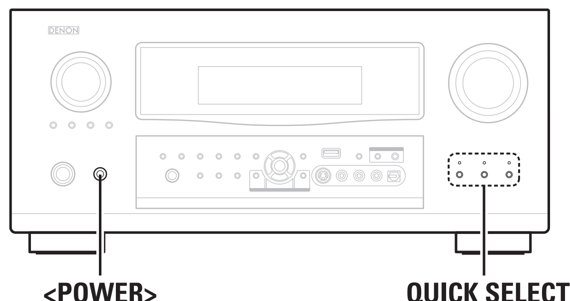
- HDMIコントロール機能をお使いになる場合、GUIメニューの“ソース選択”–“（入力ソース）”–“端子の割り当て”–“HDMI端子”の設定で、“TV/CBL”を割り当てることはできません。
- **“コントロール”を“オン”に設定すると、GUIメニューの“ソース選択”–“端子の割り当て”（☞ 5ページ）の“デジタル端子”の割り当てが変更になります。**
- **“コントロール”を“オン”に設定すると、“TV/CBL”のデジタル入力端子の割り当ては、“Optical 3”に変わります。**

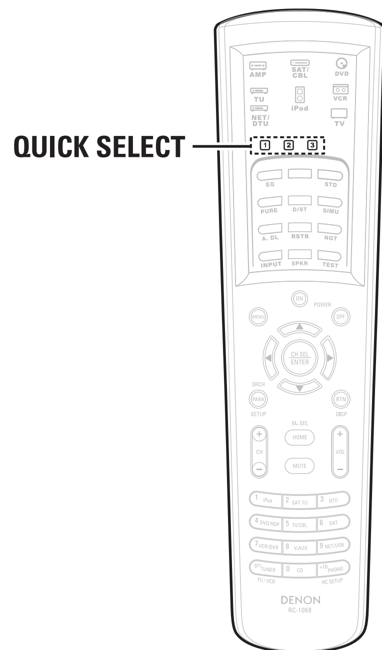
接続



取説中のボタン名の表示について

本体とリモコンの両方にあるもの	**BUTTON**
本体のみにあるもの	**<BUTTON>**
リモコンのみにあるもの	**[BUTTON]**





操作のしかた

1 **本機とHDMIコントロール機器に対応している機器をHDMIケーブルで接続する。**

2 **HDMIケーブルで接続しているすべての機器の電源を入れる。**

3 **HDMIケーブルで接続しているすべての機器の設定を確認し、HDMIケーブルでコントロール機能を有効にする。**

※ 接続機器の設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
※ 操作 1 ～ 3 は、一度操作すれば二回目以降は必要ありません。
※ いずれかの機器の電源コンセントを抜いた場合は、操作 2、3 をおこなってください。

4 **テレビの入力を、本機に接続したHDMI入力に切り替える。**

5 **本機の入力をHDMI入力のソースに切り替えて、プレーヤーの映像が正しく映るかを確認する。**

6 **テレビの電源をスタンバイにし、本機がスタンバイになることを確認する。**



- 本機が動作しない場合は、以下のことをご確認ください。
  - GUI メニューの“マニュアル設定”–“HDMI 設定”–“HDMI コントロール”–“コントロール”（☞ 4 ページ）の設定が“オン”になっているか。
  - GUI メニューの“マニュアル設定”–“HDMI 設定”–“HDMI コントロール”–“コントロールモニター”（☞ 4 ページ）の設定が、テレビを接続したモニター出力になっているか。
  - GUI メニューの“マニュアル設定”–“HDMI 設定”–“HDMI コントロール”–“パワーオフコントロール”（☞ 4 ページ）の設定が“オン”になっているか。
  - テレビの HDMI を使用したコントロール機能の設定が正しく設定されているか。（詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。）
  - 以下の操作をおこなうと、連動動作が初期化される場合があります。その場合には、再度操作 2、3 をおこなってください。
    - GUI メニューの“ソース選択”–“(入力ソース)”–“端子の割り当て”–“HDMI 端子”の設定変更
    - HDMI で接続している機器の接続変更や機器の増加
- 長期間本機を使用しない場合は、**<POWER>** を押して電源を切る (■OFF) ことをお勧めします。
  GUI メニューの“マニュアル設定”–“HDMI 設定”–“HDMI コントロール”–“コントロール”（☞ 4 ページ）を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。
  使用を再開するときは、操作 2 ～ 6 の設定を再度おこなってください。

クイックセレクト機能

現在再生中の入力ソースや入力モード、サラウンドモード、ルーム EQ、Dynamic EQ、Dynamic Volume、音量を記憶させます。

1 **入力ソースや入力モード、サラウンドモード、ルームEQ、Dynamic EQ、Dynamic Volume、音量を記憶させたい状態にする。**

2 **クイックセレクト表示が点灯するまで、QUICK SELECT を長押しする。**

【お買い上げ時の設定】

	入力ソース	音量
クイックセレクト1	DVD	–40 dB
クイックセレクト2	TV/CBL	–40 dB
クイックセレクト3	VCR	–40 dB

その他の情報

Audyssey

Audyssey MultEQ® XT

Audyssey MultEQ XT は、広いリスニングエリア内のどのリスナーにも最適なリスニング環境を提供する補正技術です。
MultEQ XT は、複数位置での測定に基づいて、時間特性と周波数特性の双方を補正すると共に、全自動でサラウンドシステムセットアップを実行します。

Audyssey Dynamic EQ™

Audyssey Dynamic EQ は、人間の聴覚や部屋の音響特性を考慮し、ボリュームレベルを下げた際に発生する音質の低下を防ぐ技術です。
Dynamic EQ は、Audyssey MultEQ XT 技術と連動することによりすべてのボリュームレベルに対して最適なバランスの音質をすべてのリスナーに提供します。

Audyssey Dynamic Volume™

Audyssey Dynamic Volume は、テレビや映画など再生されるコンテンツ内におけるボリュームレベルの変化（静かな音のシーンと大きな音のシーンの間など）をユーザーの好みのボリューム設定値に自動的に調整する技術です。
また、Dynamic Volume は Audyssey Dynamic EQ の技術をアルゴリズムの中に取り込むことによりボリュームレベルの調整時やテレビチャンネルの切り替え時、ステレオコンテンツからサラウンドコンテンツなどの切り替え時でも低域特性や音質バランス、サラウンド効果、ダイアログの明瞭さを保っています。





故障かな？と思ったら

- ❏ 各接続は正しいですか
- ❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか
- ❏ スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、弊社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【HDMI コントロール】

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
接続機器に以下の操作をすると、本機も同じ動作をする。 ● 電源の入/切 ● 音声を出力する機器の切り替え ● 音量の調節 ● 入力ソースの切り替え	● GUIメニューの“マニュアル設定”–“HDMI設定”–“HDMIコントロール”–“コントロール”を“オフ”に設定してください。各機器の電源の入/切のみ操作したい場合は、“パワーオフコントロール”を“オフ”に設定してください。	4

保証と修理について

保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から２年間です。

❑ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

❑ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

❑ 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

❑ 修理を依頼されるとき

- 添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。





株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30 〜 12：00、12：45 〜 17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in Japan　5411 10164 005DB